

企業・団体の皆さまへ
ご支援のお願い

日本救急救命士会 設立記念フォーラム



一般社団法人

日本救急救命士会

Japan Emergency Life-Saving Technician Association

日本救急救命士会 設立記念フォーラム 協賛のお願い

一般社団法人日本救急救命士会
会長 喜熨斗 智也



(一社)日本救急救命士会では、下記の通り設立記念フォーラムを企画いたしております。日本救急救命士会の趣旨にご賛同いただき、諸事御多端の折、誠に恐縮に存じますがご支援賜りますようお願い申し上げます。

イベント名 日本救急救命士会 設立記念フォーラム [社員総会(評議員会) 同日開催]
日 時 2024年10月5日(土) 10:00~17:00(予定)
会 場 東京ウィメンズプラザ(東京都渋谷区神宮前5丁目53-67)
開催方法 設立記念フォーラム 評議員会 現地&Web 配信 ハイブリッド開催(予定)
定 員 現地参加 200名 Web 450名

予定している主なプログラム 詳細は別添プログラムをご参照下さい。

10:00~12:00 社員総会(評議員会)
13:00~14:00 第一部:来賓祝辞 / 会長講演
14:00~15:00 第二部:設立記念講演
関係省庁、救急救命士制度や救急医療に造詣が深い有識者を招聘予定
15:00~17:00 第三部:設立記念シンポジウム
消防組織、医療機関、公安省庁、民間企業等の多種多様なフィールドで活躍する救急救命士を招聘し職域の現状や課題、日本救急救命士会へ期待することなどを討論する
(18:00~20:00)懇親会:様々な職域で活躍する救急救命士を始め、業界有識者を交えて親睦・交流を深め他職域の理解を深める(参加者会費制)。

協賛金募集目標額:150万円

協賛金を必要とする理由:

日本救急救命士会は会員年会費ならびに賛助会員・年度協賛団体のご支援により運営を致しておりますが、当会は2024年4月に設立されたばかりの組織であり、開催費用の相当額について企業あるいは個人からの御賛助に頼らなければならないのが実情であります。

諸事御多端の折、誠に恐縮に存じますが当会の目的にご理解賜り、救急救命士会員とともに国民の安全と安心に寄与する事業に是非ともご参画、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ご支援方法について

日本救急救命士会 設立記念フォーラムでは、以下の3種類の協賛をお受け付けいたします。
※開催施設が東京都保有施設である事から、開催施設における企業展示・企業広告掲示等が制限されております。予めご了承ください。

協賛 A:5 万円

協賛 B:3 万円

協賛 C:1 万円

※協賛 A・B・C は組み合わせてのご協賛が可能です。

協賛特典について

協賛 A:5 万円

- 設立記念フォーラム終了後に開催される演者・参加者懇親会において、プレゼンテーションタイムをご用意いたします。
- スクリーン・プロジェクター・マイクを用いて、貴社の製品・サービスについてプレゼンテーションいただけるほか、動画広告を放映することも可能です。
- プレゼンテーションタイムは5分を予定しています。

協賛 B:3 万円

- 当日フォーラム受付にて、現地参加者へ貴社の広告物を直接配布いたします。
- 広告物は貴社にてご用意下さい。また、現地参加者は200名～250名を予定いたしております。
- 当日のオンタイム Web 配信において、貴社の広告を放映いたします(無音声動画15秒もしくは静止画5枚程度)。

協賛 C:1万円

- 開催概要ホームページに設置する「協賛エリア」へバナーを掲示。
 - バナーサイズは570px×170pxとします。
 - 当会で作成代行は行いません。貴社にてご用意をお願いいたします。
 - ◇ なお、作成が難しい場合はテキストバナーを掲載いたします。
 - ◇

協賛 A・B・C 全て申し込んでいただいた場合の特典

- 開催概要ホームページに設置する「特別協賛エリア」へバナーを掲示。
- バナーサイズを、1040px×170px、570px×340px、570px×170px の3種類からお選びいただけます。

注意事項

-
- 当会でのバナー、動画広告、抄録集広告などは原則行いません。予めご了承ください。
 - 入稿方法・データ形式などはお申込者へ別途ご案内申し上げます。

ホームページバナー掲載イメージ(左PC・右スマートフォン)



協賛金の取り扱いについて

自然災害、火災、疫病、戦争、テロ、輸送機関の運行障害、停電、ネットワーク設備の損壊、行政機関の指示・命令・規制など、主催者の責めによらない事由により、主催者が催事開催を制限・停止することとした場合、催事に関する申込料金の一部または全部を返金しない場合があります。また、余剰金が発生した場合は日本救急救命士会の年度会計に組み込みさせていただき、会の運営にお役立てさせていただきます。お申込みに際しましては、当会上記方針に同意いただきお申し込みくださいますようお願い申し上げます。

受付窓口

日本救急救命士会設立記念フォーラムにご支援いただけます場合は、下記までご連絡をお願いいたします。入金方法・データ形式などの詳細はお申し込みにも別途ご連絡させていただきます。

何卒、私たちの趣旨にご賛同いただき、ご支援賜りますようお願い申し上げます。



本件担当

(一社)日本救急救命士会 事務局長 後藤 奏 宛

E-mail: info@jelsta.or.jp

TEL: 03-3384-8062 (事務局には常駐しておりません)

〒164-0001 東京都中野区中野 2-2-3 株式会社へるす出版 内
もしくは当会ホームページよりお問合せ下さい。

一般社団法人日本救急救命士会設立フォーラム 開催概要

日 時：2024年10月5日（土）13時00分～17時00分

場 所：東京ウィメンズプラザ（東京都渋谷区神宮前5-53-67）

主 催：一般社団法人 日本救急救命士会

プログラム（予定）：

13:00 - 13:05 開会宣言

13:05 - 13:20 会長挨拶 一般社団法人 日本救急救命士会 会長 **喜熨斗 智也**

【第1部】

13:20 - 14:00 来賓祝辞

- ・神奈川県知事 **黒岩 祐治 様**
- ・厚生労働省厚生労働省医政局地域医療計画課
救急・周産期医療等対策室 室長 **近藤 祐史 様**
- ・総務省消防庁 救急企画室 救急専門官 **寺村 一成 様**
- ・一般財団法人 日本救急医療財団 理事長 **横田 裕行 様**

14:00 - 14:30 特別講演1 救急救命東京研修所 教授 **田邊 晴山 様**

テーマ：救急救命士のこれまでの歴史と今後期待されること（仮）

14:30 - 15:00 特別講演2（一社）全国救急救命士教育施設協議会 代表理事 **田中 秀治 様**

テーマ：救急救命士の教育の将来像と職能のあり方（仮）

【第2部】

15:15～16:55 シンポジウム「職域を超えて語る救急救命士の未来像」

座長：福岡 範恭、植田 広樹（一般社団法人 日本救急救命士会 理事）

コメンテーター：厚生労働省厚生労働省医政局地域医療計画課

救急・周産期医療等対策室 室長 近藤 祐史 様

シンポジスト：

- ・大石 奨：豊田市消防本部/熊本大学教授システム学教育実践力開発拠点
- ・北原 学：国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院
- ・菊地 誠二：陸上自衛隊 衛生学校
- ・海谷 雄一：海上保安庁
- ・長谷川 汐里：JEMS リンクル(株)/日本救急システム(株)
- ・荻野 暁：（一社）全国救急救命士教育施設協議会
- ・竹田 豊：（一社）日本救急救命学会

16:55～17:00 閉会宣言

一般社団法人日本救急救命士会 第一期役員（理事・監事）

会 長	喜熨斗 智也	国士舘大学体育学部スポーツ医科学科
副 会 長	福岡 範恭	京都橘大学健康科学部救急救命学科
副 会 長	北村 浩一	石橋地区消防組合
副 会 長	北原 学	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院
理 事	一ノ瀬 佳彦	岸和田市消防本部
理事（総務）	植田 広樹	国士舘大学 防災・救急救助総合研究所
理 事	大石 奨	豊田市消防本部 /熊本大学教授システム学教育実践力開発拠点
理 事	萱沼 実	富士五湖広域行政事務組合富士五湖消防本部
理 事	菊地 誠二	陸上自衛隊 衛生学校
理 事	澤田 仁	京都橘大学健康科学部救急救命学科
理 事	津波古 憲	国士舘大学体育学部スポーツ医科学科
理 事	中川 貴仁	弘前医療福祉大学短期大学部救急救命学科
理 事	沼田 浩人	日本医科大学多摩永山病院
理 事	長谷川 汐里	JEMS リンクル株式会社 /日本救急システム株式会社
理 事	三上 剛人	吉田学園医療歯科専門学校
理 事	宮崎 伊佐夫	日本赤十字社伊勢赤十字病院
理 事	吉井 友和	出雲市消防本部
監 事	岡本 征仁	社会医療法人 禎心会 札幌禎心会病院 /元札幌市消防局 局長
監 事	脇田 佳典	東京慈恵会医科大学 救急医学講座 /元和歌山県消防学校 学校長
事 務 局 長	後藤 奏	日本救急システム株式会社